

中野 隆史 先生 略歴

1946（昭和21）年 東京都に生まれる

学 歴

1965(昭和40)年3月 東京都立日比谷高等学校卒業
1971(昭和46)年7月 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
1992(平成4)年1月 博士（医学）（獨協医科大学）

職 歴

1971(昭和46)年11月 東京医科歯科大学医学部附属病院精神科・神経科医員（研修医）
1973(昭和48)年4月 正慶会栗田病院精神科医員
1974(昭和49)年4月 獨協医科大学精神神経医学講座助手
1980(昭和55)年4月 栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学部非常勤講師（2013年3月まで）
1980(昭和55)年6月 獨協医科大学精神神経医学講座講師（専任）
1990(平成2)年7月 獨協医科大学老人性痴呆疾患センター副センター長（2002年3月まで）
1994(平成6)年1月 筑波大学大学院医学研究科非常勤講師（1994年3月まで）
1996(平成8)年4月 獨協医科大学精神神経医学講座臨床助教授
1996(平成8)年4月 福島大学教育学部非常勤講師（2007年3月まで）
1996(平成8)年7月 獨協医科大学精神神経医学講座助教授
2001(平成13)年4月 駒沢大学大学院人文科学研究科非常勤講師（2005年3月まで）
2002(平成14)年4月 獨協大学経済学部教授
同 獨協大学保健センター附属診療所長
同 獨協医科大学医学部非常勤講師（現在まで）
同 栃木産業保健総合支援センター基幹相談員（現在まで）
2003(平成15)年4月 獨協大学保健センター所長
2007(平成19)年4月 東京医科歯科大学医学部非常勤講師（2007年9月まで）
2012(平成24)年4月 立正大学社会福祉学部非常勤講師（2012年9月まで）
2017(平成29)年4月 全国大学保健管理協会名誉会員

免許・資格

医師免許（1971(昭和46)年11月）
精神保健指定医（1978(昭和53)年4月）
日本老年精神医学会専門医・指導医（2000(平成12)年4月）
日本てんかん学会専門医・専門医指導医（2000(平成12)年10月）
日本臨床神経生理学会認定医（脳波）（2001(平成13)年4月）
日本精神神経学会専門医・指導医（2002(平成14)年4月）
日本医師会認定産業医（2006(平成18)年5月）

主要研究業績

- 1) 「老年のぼけ・痴呆と脳波の自動解析」永井書店 『臨床脳波』 18巻12号 1976年12月 (751頁～758頁)
- 2) 「The mental deterioration in the aged and the computerized EEG analysis」日本精神神経学会『Folia Psychiatrica et Neurologica Japonica』 Vol.32 No.1 1978年1月 (95頁～108頁)
- 3) 「コンピュータ解析からみた老人脳波の特徴—一般成人群との比較において」日本脳波・筋電図学会 『脳波と筋電図』 7巻4号 1979年12月 (267頁～275頁)
- 4) 「老年期のぼけ・痴呆と脳波」医学書院『神経研究の進歩』 25巻6号 1981年12月 (1219頁～1227頁)
- 5) 「脳波の継時的変化—ぼけ・痴呆との関連において」永井書店 『臨床脳波』 1982年11月 (741頁～751頁)
- 6) 「最近の systemic lupus erythematosus における精神症状について—昭和50年代の経験から」日本精神神経学会 『精神神経学雑誌』 85巻6号 1983年6月 (337頁～348頁)
- 7) 「老年期痴呆の脳波学的研究」『老年期痴呆』 金原出版 長谷川和夫編 1984年6月 (55頁～67頁)
- 8) 「S L E 精神病」『身体疾患と精神障害』 金原出版 原田憲一編 1985年5月 (60頁～72頁)
- 9) 「老人脳波の継時的変化—9年の追跡調査」永井書店『臨床脳波』 28巻2号 1986年2月 (81頁～87頁)
- 10) 「抗痴呆薬による脳波変化の定量解析」永井書店『臨床脳波』 31巻2号 1989年2月 (97頁～102頁)
- 11) 「Longitudinal changes in computerized EEG and mental function in the aged: A nine-year follow-up study」International Psychogeriatric Association 『International Psychogeriatrics』 Vol.4 No.1 1992年7月 (9頁～23頁)
- 12) 「抗痴呆薬と脳波」星和書店『神経精神薬理』 14巻10号 1992年10月 (609頁～616頁)
- 13) 「青年期、老年期のてんかん」『臨床精神医学講座9 てんかん』 中山書店 鈴木二郎、山内俊雄編 1998年9月 (1186頁～1190頁)
- 14) 「老化と脳、電気生理学」『臨床精神医学講座12 老年期精障害』 中山書店 本間 昭、武田雅俊編 1998年12月 (65頁～76頁)
- 15) 「老年期のてんかんの診断と治療」『知っておきたいてんかんの診断と治療』 真興交易出版 小島卓也編 2000年6月 (92頁～102頁)
- 16) 「S L E 精神病の長期経過について」日本総合病院精神医学会 『総合病院精神医学』 12巻2号 2000年2月 (181頁～188頁)
- 17) 「てんかんと痴呆、認知障害」、「てんかんの精神症状と行動」研究会編 『てんかん—その精神症状と行動』, 新興医学出版社 2004年10月 (48頁～54頁)
- 18) 「高齢者の脳波—若年成人との比較および9年間の追跡研究」日本臨床神経生理学会『臨床神経生理学』 33巻6号 2005年12月 (534頁～541頁)
- 19) 『てんかん診療のクリニカルクエスチョン 200 第2版』 診断と治療社 松浦雅人編 2013年1月 (39頁～42頁)

専門領域

臨床精神医学、臨床てんかん学、臨床神経生理学、老年精神医学、学校精神保健、産業精神保健

所属学会

日本精神神経学会、日本老年精神医学会、日本てんかん学会、日本臨床神経生理学会、
日本総合病院精神医学会、日本学生メンタルヘルス学会、全国大学保健管理協会